



英国のモバイルTV事情

🕒 記事のポイント

サマリー

第3世代携帯電話（3G）への移行が遅れた英国では、3Gの普及拡大に向け、2005年後半から、「モバイルTV」サービス（携帯電話向け放送サービス）を開始するモバイルキャリアの動きが目立っている。そこで、本稿では英国の携帯電話市場の現状に触れつつ、各社の「モバイルTV」サービスについてレポートする。

主な登場者 Orange Vodafone 3UK O2

キーワード モバイル 3G コンテンツ 放送

地域 英国

執筆者 KDDI総研 市場分析2G 齋藤 豪助 (gosuke@kddi.com)

1 英国の携帯電話市場の概況

世界第二のユーザー数を誇るモバイルキャリア「Vodafone」^{🔗 (脚注)}のお膝元である英国では、携帯電話の普及は順調に進み、2006年3月現在の携帯電話加入者数は、6,714万9,000件に達し、携帯電話の人口普及率は、既に100%を超えている（2006年3月現在、約110.4%の人口普及率^{🔗 (出典)}）。



^{🔗 (脚注)}

2006年3月現在、Vodafoneグループ（17カ国）全加入者の合計は、1億7,057万1,000件となっている。ちなみに、世界第一のユーザー数を擁するモバイルキャリアはChina Mobileである（2006年3月現在、2億6,064万5,000件）。

^{🔗 (出典)}

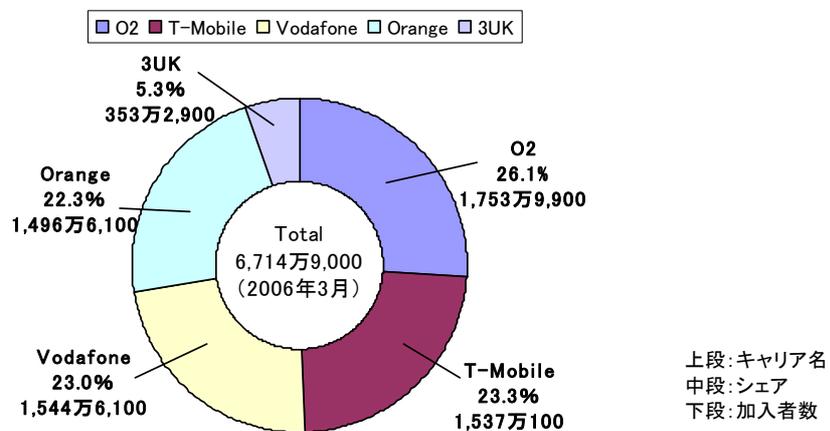
「Global Mobile」Volume13,Number9（2006.5.17）

英国のモバイルキャリアは、「O2」（Telefónica系）、「T-Mobile」（Deutsche Telekom系）、「Orange」（France Telecom系）、「Vodafone」、それと第3世代携帯電話専業の「3UK」（Hutchison系）の5事業者が、それぞれしのぎを削っている[☞]（[脚注](#)）。

【図表1】は、各社の市場シェアを示したものである。英国では、一事業者が過半数のシェアを占める日本とは異なり、「3UK」を除く上位4社が、シェア20%台で拮抗しており、日夜、熾烈なサービス競争を繰り返している。

この他にも、英国では、「Virgin Mobile」などのMVNO[☞]（[用語解説](#)）が存在しているため、モバイルキャリアにとっては、より厳しい競争環境といえるだろう。

【図表1】 各社の市場シェア（2006年3月現在）



(Global Mobileの資料をもとにKDDI総研作成)



☞（[脚注](#)）

O2、T-Mobile、Orange、Vodafoneの4社は、第2世代携帯電話（GSM）、第2.5世代携帯電話（GPRS）の他、3UKと同様、第3世代携帯電話（W-CDMA）のサービスも提供している。ちなみに、第3世代携帯電話の市場シェアの内訳は、3UKが71.2%（約353.3万）、Vodafoneが17.9%（約89万）、Orangeが8.6%（42.5万）、O2が1.4%（7万）、T-Mobileが0.9%（4.5万）となっている。

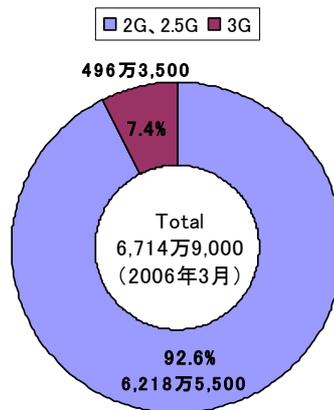
☞（[用語解説](#)） **MVNO**

MVNOとは、「Mobile Virtual Network Operator」の略称である。周波数免許を所有することなく、携帯電話事業者からネットワークインフラを借り受け、ユーザーに携帯電話サービスを提供する事業形態をとる。そのため「仮想移動통신事業者」などとも呼ばれる。英国では、航空会社を経営するVirginグループなどがMVNO事業に参入している。

一方、英国における第3世代携帯電話（以下「3G」）は、普及が遅れており、3Gの加入者が全携帯電話加入者に占める割合は、わずか7.4%ほどでしかなく（【図表2】）^④（脚注1）、依然として2Gおよび2.5Gユーザーの数が圧倒的に多い。高い携帯電話の普及率とは反対に、3Gへの移行は足踏み状態といった状況である。

モバイルキャリアとしては、高い3Gの免許料（英国の場合、3Gの免許料は、数兆円規模）を負担してまで3Gサービスへ参入したわけであるから、3Gへの移行を速めたいと考えているであろう。

【図表2】英国携帯電話市場における2G・2.5Gと3Gの加入者の割合（2006年3月現在）



（Global Mobileの資料をもとにKDDI総研作成）

しかしながら、現状では、3Gならではの魅力あるサービスがそう多く提供されているわけではないため、SMS（Short Message Service）やMMS（Multimedia Messaging Service）などの2G・2.5Gのサービスに十分満足してしまっている多くのユーザーは、従来の携帯電話を使い続ける傾向にある。これが、3Gへの移行を遅らせる原因の一つともなっている。

こうした状況を打開するためか、英国のモバイルキャリアは、2005年の後半あたりから、激しい競争環境において他社との差別化につながり、3G普及の牽引役にもなるサービスとして、携帯電話に衛星放送や地上波放送などのTV番組を配信する「モバイルTV」サービス^⑤（脚注2）に注力する動きが目立ち始めている。



④（脚注1）

2006年3月現在、英国における全携帯電話の加入者数は、6,714万9,000件であるのに対し、3Gの加入者数は496万件に留まっている。

⑤（脚注2）

本稿での「モバイルTV」サービスとは、3Gの携帯電話ネットワークや放送ネットワークを利用し、携帯電話端末に直接、放送コンテンツ（衛星放送あるいは地上波放送）を配信するサービスを指す。

2 英国モバイルキャリア各社の「モバイルTV」サービス

携帯電話向けの放送サービスが、今のところ「ワンセグ」のみである日本とは異なり、英国では、いくつかの商用「モバイルTV」サービスが既に立ち上がっている。

2006年5月現在、英国のモバイルキャリア各社が提供する「モバイルTV」サービスの主要なものとしては、【図表3】をあげることができる。

【図表3】各社の「モバイルTV」サービスの概要（2006年5月現在）

サービスタイプ	キャリア名	サービス名	サービス開始時期	サービス概要
「3G ネットワーク」 利用型	 (Orange)	Orange TV	2005年5月	<ul style="list-style-type: none"> 英国初の「モバイルTV」サービス 16チャンネル提供 料金（月額）：10 £（約2,100円）
	 (Vodafone)	Sky Mobile TV	2005年11月	<ul style="list-style-type: none"> 英国の衛星放送事業者「BSkyB」との連携により、携帯電話に衛星放送番組を配信するサービス 24チャンネル提供 料金（月額）：5ポンド（約1,050円）
	 (3UK)	Mobi TV	2005年10月	<ul style="list-style-type: none"> 放送コンテンツは、Mobi TV社（携帯電話向けTV番組コンテンツの配信事業者）が3UKに提供 19チャンネル提供 料金（月額）：5ポンド（約1,050円）
		Mobile TV	—	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話用に再編集したTV番組コンテンツを配信するサービス 8チャンネル提供 料金：5ポンド（約1,050円）/15分
「放送ネットワーク」 利用型	 (O2)	TV-to-Mobile Trial	2005年9月	<ul style="list-style-type: none"> 欧州版携帯電話向け地上デジタル放送（DVB-H）のトライアルサービス 英国オックスフォード地区にて実施 16チャンネル提供（地上波TV含む）

（各社のホームページをもとにKDDI総研作成）

英国の「モバイルTV」サービスは、放送コンテンツの提供方法の違いから、【図表3】が示すとおり、二つのサービスタイプに分類することができる。

一つは、携帯電話ネットワークのデータ通信により放送コンテンツを配信する「3Gネットワーク利用型」、もう一方は、放送用の電波により放送コンテンツを配信する「放送ネットワーク」利用型である。

前者のサービスタイプは、日本でいう“iモード”や“EZweb”などのモバイルインターネット内のサービスとして提供されるケースが多い。また、後者のサービスタイプは、日本の“ワンセグ”（携帯電話向け地上デジタル放送）に該当し、携帯電話のネットワークではなく、放送用電波により携帯電話端末へTV番組を配信するサービスとなっている。以下それぞれのサービスについて説明する。

① 「3Gネットワーク」利用型

◎ Orange : 「Orange TV」

Orangeは、英国初の3Gネットワークを利用した「モバイルTV」サービスの「Orange TV」を2005年5月から提供している。同サービスでは、ITN（ニュースチャンネル）、CNN（ニュースチャンネル）、Cartoon Network（子供向けチャンネル）などのチャンネルが、合計16チャンネル提供されている。

なお、月額利用料は、10£（約2,100円）^④（換算率）となっており、ユーザーは月に約20時間（1GBのデータ分）の番組視聴が可能となっている。

【図表4】「Orange TV」のデモの様子



(出典) Orangeのホームページ (<http://www.orange.co.uk/entertainment/tv/index.php>)



^④（換算率）

1£ = 210.22円（2006年6月1日 東京市場TTMレート）

© Vodafone : 「Sky Mobile TV」

Vodafoneは、Orangeから遅れること約半年、2005年11月に、英国唯一の衛星放送事業者「BskyB」との提携による「モバイルTV」サービス、「Sky Mobile TV」を開始した。「Sky Mobile TV」は、「BskyB」から番組の供給を受けるため、衛星放送の番組を中心にチャンネルが構成されており、SkyNews（ニュースチャンネル）、Sky Sports（スポーツチャンネル）などのチャンネルが、合計24チャンネル提供されている。【図表5】は、「Sky Mobile TV」に対応する携帯電話端末の例である。なお、月額利用料は、5£（約1,050円）となっている^④（脚注）。

【図表5】「Sky Mobile TV」対応端末の例

メーカー	Nokia	サムスン電子	サムスン電子	Motorola
端末名	6280	Z540	Z500	V3x
端末画像				

（出典）Vodafoneホームページ

© 3UK : 「Mobi TV」、「Mobile TV」

3UK（3G専門のモバイルキャリア）は、携帯電話向けの放送コンテンツのプロバイダーであるMobi TV社との連携により、「Mobi TV」の名称で「モバイルTV」サービスを提供している。

3UKのユーザーは、同社のモバイルインターネットサービス「Planet Three」より専用のソフトウェアをダウンロードし、端末に設定することで、MTV（音楽チャンネル）、CNN（ニュースチャンネル）などの番組を、合計19チャンネル視聴することができる。なお、月額利用料は、5£（約1,050円）となっている。



^④（脚注）

「Sky Mobile TV」に関するより詳しい情報については、KDDI総研R&A 2006年1月合併「英Vodafoneの携帯電話向けTV番組配信サービス」（齋藤）を参照されたい。
（記事無料配信のURL：http://www.kddi-ri.jp/ja/r_a/pdf/KDDI-RA-200603-02.pdf）

3UKは、この他、「Mobile TV」の名称で、携帯電話向けに再編集して作成された映像コンテンツの配信サービスも提供している。利用料は15分間の視聴で5£（約1,050円）となっており、他のサービスと比べるとかなり高めである。

【図表6】「Mobi TV」対応端末：Nokia「6630」



(出典)「Mobi TV」ホームページ (<http://www.mobitv.com>)

②「放送ネットワーク」利用型

◎ O2 : 「TV-to-Mobile trial」

「放送ネットワーク」利用型のサービスは、先に述べたとおり、日本の「ワンセグ」に該当するサービスである。

日本の「ワンセグ」は、「ISDB-T (Integrated Service Digital Broadcasting-Terrestrial)」という規格を利用した「携帯電話向け地上デジタルサービス」であるが、O2の「TV-to-Mobile trial」は、欧州版の携帯電話向け地上デジタル放送サービスの規格である「DVB-H (Digital Video Broadcasting-Handheld)」を利用した「モバイルTV」サービスである。

O2は、この“欧州版ワンセグ”とでもいふべき「TV-to-Mobile trial」を2005年9月より、英国オックスフォード地区限定で、自社ユーザーのモニター約400名向けにトライアルサービスを提供している。O2は、ここでのトライアル結果をもとに、本格サービスの準備を進めていく計画である。

なお、「TV-to-Mobile trial」では、合計16チャンネルが提供されているが、この中には、地上波放送のチャンネルが7チャンネル含まれている。

【図表7】「TV-to-Mobile trial」対応端末：Nokia「7710」



(出典) O2ホームページ (http://www.o2.com/about/tv_to_mobile_trial.asp)

【コラム】 「Orange TV」の利用状況

英国の各種報道によると、Orange (英) が提供する「Orange TV」の利用状況 (利用シチュエーション・視聴チャンネル・視聴時間) は、以下に示す内容となっている。

まず、「Orange TV」を利用するシチュエーションは、以下のとおりである。

- ①食事や休憩中に軽く視聴する…36%
- ②移動中に視聴する…18%
- ③友人との待ち合わせ時などに視聴する…12%
- ④家の中で視聴する…10%

次に、よく視聴するチャンネルについては、CNN (ニュース) が最も人気が高く (18%)、ITN (ニュース)、BigBrother (バラエティー) といったチャンネルが、僅差でこれに続いている。また、「Orange TV」利用者の平均視聴時間 (月間) は、約35分とのことであった。やはり、日常生活におけるスキマ時間の“ちょっと見”のニーズが高いということであろうか。

【図表8】「Orange TV」利用の様子



(出典) BBC NEWS

(参考資料)

BBC NEWS 「Major UK mobile TV trial starts」 2005.9.22

Total Telecom 「Orange adds eight new mobile TV channels」 2005.9.4

3 各社の「モバイルTV」サービスにおける放送コンテンツ

各社とも概して同じような放送コンテンツを配信しており、ニュース（CNN）、アニメ（Cartoon Network）、スポーツ（Sky Sports）、音楽（MTV）などのジャンルが定番のチャンネルとなっている。

ただし、O2の「TV-to-Mobile trial」に限っては、地上デジタル放送サービスの一種であるため、上記の定番チャンネルに加え、「BBC」、「ITV」、「Channel4」といった英国の地上波放送のチャンネルが提供されている。なお、各サービスのチャンネルのラインナップは【図表9】のとおりである。

【図表9】各サービスが提供するチャンネルとジャンル

サービス名 (キャリア名)	チャンネル名 (ジャンル)	チャンネル数
Orange TV (Orange) 	ITN (ニュース)、CNN (ニュース)、Bloomberg (金融)、Bravo (エンターテインメント)、FashionTV (ファッション)、Cartoon Network (アニメ) Extreme Sports (スポーツ) etc.	16チャンネル
Sky Mobile TV (Vodafone) 	SkyNews (ニュース)、Sky Sports News (スポーツ)、CNN (ニュース)、Bloomberg (金融)、Discovery Channel (ドキュメント)、MTV (音楽)、Nickelodeon (子供向け)、Sky Movies (映画) etc.	24チャンネル
Mobi TV (3UK) 	Sky Sports News (スポーツ)、MTV (音楽) Extreme Sports Network (スポーツ)、ITN (ニュース)、KissTV (音楽) Cartoon Network (子供向け) etc.	19チャンネル
Mobile TV (3UK) 	MTV Trax (音楽)、VideoZone (音楽)、MTV snax (音楽)、Paramount Comedy (コメディ)、FHM TV (アダルト)、6Degrees (スポーツ)、The Adult Channel (アダルト)	8チャンネル
TV-to-Mobile Trial (O2) 	BBC1 (地上波)、BBC2 (地上波)、BBC News24 (地上波)、ITV1 (地上波)、ITV2 (地上波)、Channel4 (地上波)、Five (地上波)、British Eurosport (スポーツ)、Cartoon Network (子供向け)、CNN (ニュース)、Discovery Channel (ドキュメンタリー)、MTV (音楽)、ShortsTV (ドラマ)、Sky News (ニュース)、Sky Sports News (スポーツ)、Sky Travel (トラベル)	16チャンネル (地上波含む)

(各社のホームページをもとにKDDI総研作成)

📖 執筆者コメント

去る6月10日、いよいよサッカーの世界カップ（2006 FIFA World Cup™）が開催され、世界各地で盛り上がりを見せている。サッカーの世紀の祭典は、「モバイルTV」を提供するモバイルキャリアにとっては、サッカー番組の配信により、「モバイルTV」サービスの認知度アップを狙う絶好のチャンスである。特に、サッカーに関心の高い欧州であればなおさらであろう。

例えば、3UKは、全64試合のハイライトシーンを放送コンテンツに加えるなど、ワールドカップと「モバイルTV」を結びつけたサービスの拡販を活発化させている。

英国では、モバイルのみならず、固定系のサービスにおいても、BTがIP-TVサービス（ブロードバンド経由のTV放送サービス）へ本格参入するなど、通信と放送の融合の機運が高まりつつある。果たして本年は、サッカーワールドカップなどの影響により、「モバイルTV」の知名度が一気に広まり、3Gの普及に貢献することができるのか、それが試される恰好の年となりそうだ。

【著者紹介】

氏 名：齋藤 豪助（さいとう ごうすけ）
 所 属：KDDI総研 第2市場分析室 研究主査
 専 門：欧米・アジアを中心としたモバイル・ブロードバンド分野
 主な業務実績：著作権管理システムに関する調査研究
 サーバホスティングに関する調査研究
 地域情報化に関する調査研究
 各国（韓国・米国など）の端末デバイスに関する調査研究
 国内情報通信産業に関するマーケティング調査



主 な 著 書：日本記号学会編「ケータイ研究の最前線」（共著）慶應義塾大学出版会、2005年

【コメント】

本レポートに関わる詳細な調査をご希望の方は、追加調査を随時お受けいたしますので、ご相談ください。

Email : gosuke@kddi.com

電話 : 03-6716-1156

📖 出典・参考文献

- Orangeホームページ (<http://www.orange.co.uk/>)
- Vodafoneホームページ (<http://online.vodafone.co.uk/maintenance/>)
- 3UKホームページ (<http://www.three.co.uk/index.omp>)
- O2ホームページ (<http://www.o2.co.uk/>)
- 「Global Mobile」Volume13,Number9（2006.5.17）
- Ofcomホームページ (<http://www.ofcom.org.uk/>)